

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「あしたへつなぐ 自分たんけん」

2 単元の目標

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことを支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

低学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	・自分の思いを友達に伝える力	①自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。	①友達の頑張っていることや成長に気づき、それを伝えている。	①自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとしている。
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	・周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く力	②自分が大きくなったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 ③自分自身の良さや可能性に気付いている。	②過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。	②自分のことをもっと知りたいという思いをもって、自分の成長を振り返ろうとしている。
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあてをもって実行する力		③具体的な手掛かりを見付けながら、過去の自分自身や出来事を振り返っている。	③成長を振り返るために、手がかりを見付けたり集めたりして意欲をもって調べようとしている。
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	・自分の課題に気づき、次に生かそうとする力		④3年生の生活でやりたいことやがんばりたいことを考えている。 ⑤自分の成長への願いを持ち、これからの生活について表現している。	④これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとしている。

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

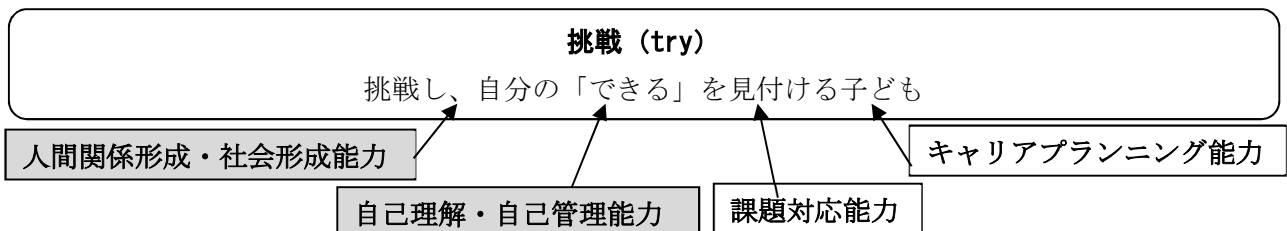
(1) 児童の実態と単元観

第2学年の3学期になり、1学期の頃よりも落ち着いて学習活動に取り組めるようになった。生活科の学習では、単元ごとに振り返りを必ず行うことで、各単元での学習活動を通して自分がどんなことができるようになったかを自分の言葉で書けるようになってきた。しかし、行動面での振り返りが中心で、心情面での自分の頑張りや成長に気付いている児童は少ない。




本単元では、自分の成長を振り返るときに、友達や保護者から見た成長の様子を聞く活動を取り入れている。そうすることで、自分で気付いていなかった自分の良さや、心情面での成長に気づき、自己肯定感が高まったり、相手の良さを見付けられたりできるようになると考える。また、友達の成長に関心をもったり、お世話になった人たちの存在に気付いたりできるようになると考える。

キャリア教育の視点では、この単元を通して特に「自己理解・自己管理能力」を育てていきたい。そのために、本単元では、自分自身の良さや可能性に気づき、これからも成長できることが分かり、3年生でも意欲的に生活しようとする力を伸ばしたい。また、友達の頑張りを見付け、伝え合う活動を通して、自分自身の気付かなかった良さや成長に気付くとともに、友達の良さや成長に気づき、これからもよりよく関わろうとする「人間関係形成・社会形成能力」を育てていきたい。




(2) 低学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力



(3) 目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】: 意欲的に活動しようとする主体性を引き出すために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の思いや願いを大切にされた単元計画の工夫 教師が学習活動を一方的に決めるのではなく、児童の思いや願いを基に活動計画を取り入れることで、児童一人一人の「やってみたい」という主体性をもたせる。 ○ 3年生との交流活動を取り入れる 2年生の終わりが見えてくると、いよいよ3年生になるという意識が芽生えてくる。「もうすぐ3年生になる」という期待をエネルギーに3年生の様子を聞きに行く活動を設定することで、進級への期待を高め、これからも意欲的に活動しようとする思いにつながる。 	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】: 自分の良さや成長に気付かせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 星カードや生活科ノートの活用 教室に掲示されている星カードや生活科ノートの振り返りには1年間の学習活動での自分の成長が記されている。それを自分自身の成長に気付かせる資料とするとともに、それ以外にも自分ができるようになったことがないかを考えることができる。 ○ 友達の頑張りを見付け、伝える活動を設定 友達のがんばりを見つけ、伝える活動を設定することで、友達から自分のよさや成長を伝えてもらい、自分自身の気付かなかった良さや成長に気付けるようにする。また、友達の良さや成長を考えることで、友達の良さや成長に気づき、これからもよりよく関わろうとする思いにもつなげる。 	<p>【夢4】</p>  

5 指導計画 (全26時間)

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	明日へつなが自分たんけん～学習の見通しをもとう～	<ul style="list-style-type: none"> ○今の自分の頑張っているところやできるようになったことを振り返る。 ○今の自分から前(過去)とこれから(未来)はつながっていることを知り、「どのように成長してきたか。」「これからどうなりたいか。」を学習していくことを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「<u>夢4ファイル</u>」の振り返りから、<u>児童一人一人がどんなことができるようになったと感じているかを想定しておく。</u> ◆今・過去・未来を時系列で確かめることで、これからの学習の見通しをもたせる。 	<p>【主②】</p> 
	2 3 4 5 6	「今」の自分を見つめよう～大きくなった自分について考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> ○以前と比較してできるようになったことや得意になったことを考え、今の自分はどんな自分なのかを表現する。(入学してから現在まで) ○友達の良いところや成長したところを考え、カードなどを書いて伝え合う。 ○学校や家庭でどんな立場を担ってきたのか、以前と変わったことはないかを考え、伝え合う。 ○できるようになったことがどのくらいあるのかを考え、気付いたことを自分なりの方法で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆行事の記録写真をスライド資料で見せたり、生活科カード、夢4ファイルを見たりして、頑張ってきた気持ちでいっぱいになるような環境を作る。 ◆一人一人のまとめ方の差をなくすために、紙に貼って巻物形式でまとめていく。 ◆<u>友達の頑張りを見付け、伝える活動を設定することで自分自身の良さに気付き、自身の見方を広げるきっかけを作る。</u> ◆<u>家族や周りの人から成長したことをカードに書いてもらうことで、自分の成長にはたくさんの人が関わり、応援していることに気付かせる。</u> 	<p>【思・判・表②】 【知・技②】</p> 
見つめる	7 8 9 10	「過去」の自分にタイムトリップ!～周りの人に聞いて、自分の成長をまとめよう～	<ul style="list-style-type: none"> ○生まれたばかりの頃の自分の身体的な大きさを知る。 ○家族やお世話になった身近な人に自分の小さい頃(就学前)のことを取材し、聞いたことを交流する。 ○集めた情報を基に、自分の成長をまとめる。 ○中間発表会を行い、まとめ方の工夫に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>養護教諭と連携して授業を行う。生まれたばかりの様子について知ることで、小さかった頃の自分の様子に関心をもたせる。</u> ◆<u>様々な家庭環境を考慮して、就学前のどの時点かを調べるかは子どもに決めさせる。また、取材する人は家族だけでなく、お世話になった身近な人でもよいこととする。</u> ◆一人一人、まとめ方の工夫ができるように何種類かのワークシートを準備する。 ◆<u>中間発表会を設定したり、作業の時間差を利用して交流の時間を設けたりして、まとめ方の工夫に気付かせる。</u> 	<p>【主③】 【思・判・表③】</p> 

	11 12 13 14 (本時) 15 16	「過去」の自分にタイムトリップ！～自分の成長を振り返ろう～	<p>○自分の成長をまとめたものを交流し、感想を伝え合う。</p> <p>○誰がどのように成長を支えてくれたか考え、友達と自分の成長を伝え合いながら、互いに認め合い、喜びを味わう。</p> <p>○今までお世話になった方々を振り返り、「ありがとう大作戦」を計画・実践する。</p>	<p>◆<u>発表・交流後は一人一人発表した児童へ感想を書き、思ったことや感じたことを伝え合う。</u></p> <p>◆<u>多くの方の支えがあって成長できたことに気付けるように、「自分がここまで大きく成長できたのは、どんな方の支えがあったか」と問い掛け、ウェブマップ形式でまとめる。</u></p> <p>◆<u>お世話になった方、それぞれに合った感謝の気持ちの表し方ができるように、グループで話し合いをして計画を立てさせる。</u></p>	<p>【知・技①】</p>  <p>【思・判・表①】</p>  <p>【主①】</p> 
広げる	17 18 19 20 21 22 23	「未来」の自分をのぞいてみよう！～3年生になったら～	<p>○3年生の教室に行き、3年生の生活について話を聞いたり、学習の様子を実際に見せてもらったりする。</p> <p>○3年生がどんなことをしていたか、どんなふうに見えたか、3年生でやってみたいことなどを発表し合う。</p>	<p>◆「<u>もうすぐ3年生だけど、今とどんなところが違うのでしょうか。</u>」と問い掛け、<u>今との違いを比べたり、3年生へ向けての期待を膨らませたりしながら見学できるようにする。</u></p> <p>◆3年生への取材の後、気付いたことや見付けたことを交流し、どんなことが楽しいかという心情的な交流も行う。</p>	<p>【思・判・表④】</p> 
	24 25 26	明日へつなが自分たんけん～これからの自分を考えよう～	<p>○これまでの自分を振り返るとともに、自分がなりたい3年生の姿を考えてワークシートにまとめる。</p> <p>○「明日へつなが自分たんけん」集会を行い、自分の目指すなりたい3年生の姿を伝え合う。</p>	<p>◆<u>学級活動「2年生のわたし」の振り返りと関連させて、「自分がなりたい3年生の姿」を考える。</u></p> <p>◆「<u>自分の目指すなりたい3年生の姿</u>」の決意表明を行わせるために、集会活動を取り入れる。</p>	<p>【知・技③】</p>  <p>【思・判・表⑤】</p> <p>【主④】</p> 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（26時間扱いの14時間目）



(1) 本時の目標

今までお世話になった方々に感謝の気持ちを表す「ありがとう大作戦」の作戦を計画する活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとする事ができる。

(2) キャリア教育の重点

◎今までお世話になった方々に感謝の気持ちを表す「ありがとう大作戦」の作戦について思考ツールを活用して計画する活動を通して、自分の思いを友達に伝える力を育む。【人間関係形成・社会形成能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 10分	1 前時の活動を振り返り、お世話になった方々には、どんな方がいたかを思い出す。 2 本時のめあてを確かめる。 	【全体】 ・前時でまとめたウェブマップ (模造紙)	○ <u>多くの方の支えでこれまで成長できたことが一目で分かるように、ウェブマップの形で模造紙にまとめる。</u> ○「お世話になった方がたくさんいますが、どうしたいですか。」と問い掛け、本時のめあてにつなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「ありがとう大作戦」の作戦を考えよう。</div>			
展開 25分	3 「だれに」「どんな方法で」感謝の気持ちを伝えるかを考える。 ・「家族」に「手紙を書く」。 ・「野菜作りを手伝ってくれた小澤さん」に野菜を育てた感想や勉強になったことを伝える。 ・「町探検でお世話になったばあんの方」にありがとうの手紙を集めて模造紙に貼る。 4 グループでどの方法がよいか、話し合う。 ・「家族」は手紙という方法も出たけど、お手伝いをするのもいいと思います。 ・自分のことをがんばるのもいいと思います。 5 グループの中で一番おすすめの作戦を紹介し合う。 ・「子どもセンターばあん」の方には、いつでも見られるように、模造紙にお手紙を貼って渡すといいと思いました。 ・「家族」には手紙だけではなく、お手伝いをしたり、自分のことを自分でしたりすると喜んでもらえると思います。	【個人】 ・ワークシート ・付箋 【グループ】 ・思考ツールを記入した画用紙 ・付箋(個人で記入したもの) 【全体】 ・話し合いで活用した画用紙	○学習の流れを提示し、今何をする時間か、どのくらいの時間で行うか見通しをもたせる。 ○この後のグループでの話し合いに向けて、自分の考えを付箋に書かせる。 ○「だれに」は赤、「どんな方法で」は青の付箋に書き、分かりやすくする。 ○ <u>一人一人が書いた付箋を思考ツールが書かれている画用紙に出し合うことで、自分の思いを友達に伝えることができるようにする。</u> ○すべての作戦を紹介する時間がないので、それぞれのグループの一番おすすめの作戦を紹介させる。 ○それ以外のものについては、画用紙を見て分かるようにする。 ○グループで紹介されなくても、教師がよいと思ったものについては、全体の共有の時に触れる。 ●自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとしている。 【主①】 
まとめ 10分	6 本時の振り返りを行う。 ・お世話になった人へ、ありがとうを伝える方法をたくさん考えることができた。 ・次はばあんの方に手紙を書きたい。 ・友達の方法を聞いて、そのやり方もいいなと思った。	【個人】 ・生活科ノート	○ <u>本時で頑張ったことやできたこと、友達の考えでよかったこと、次の時間にやりたいことの視点で書かせる。</u>

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

あしたへつなぐ 自分たんけん

めあて 「ありがとう大作せん」の作せんを考えよう。



自分の思いを友達に伝えよう！

《学しゅうのながれ》

1. 自分で考える。
2. グループで考える。
3. みんなで考える。
4. 振り返り

だれに	どんな方法で
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

だれに	どんな方法で
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

前時でまとめたウェブマップ

だれに	どんな方法で
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

だれに	どんな方法で
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>